



野田第一〇二 號 九月六日

大正六年 九月五日 高嶽 第三五七八號

不逞解人檢挙ノ件

安東警務署ニ於テ八月二十九日ヨリ

同三十日ニ涉リ同地不逞解人ノ檢挙ニ

着手シ安東嶺崔昇勛李道成趙在健兼奉

賢ノ五名ヲ逮捕セシカ犯罪ノ内容ハ未

タ判明セサルモ同人等ハ大韓獨立青年

團之章ト刻セル印章及多數ノ不逞印刷

物等ヲ所持シ居タリト云フ其ノ印刷物

ノ一、二ヲ譯出スレハ別紙ノ如シ

第六〇号

九月十六日

800

0818

尚木逮捕者中四名ノ本籍經歷等ハ判明  
セサルニ安東瓊ハ京城府南部下梨洞ニ  
本籍ヲ有シ大正四年十月ヨリ平安北道新  
義州府真砂町ニ辯護士ヲ開業セルカ同  
人ハ嘗テ伊藤公暗殺者安重根ノ辯護ニ  
從事シ又本年三月ノ騷擾事件ニ関與  
ニ疑アル不逞ノ徒ナリ(平安北道知事報告要旨)

發送先

總務、政務總監、各局長、農務部長、各道知事  
内閣書記官長、陸軍次官、海軍次官、内務、外務次官、拓殖局長、警務局長、  
軍司令官、兩師團長、憲兵隊司令官、関東廳長官、南島、浦塩派遣員)

譯文

中外通信

第四十七號

大韓民國元年八月十八日

社説

○大韓青年團聯合會ヲ祝ス

802

青年ハ國民ノ中堅ニシテ國家ノ精銳ナ  
 リ伊太利ノ建國ト佛蘭西ノ革命ハ何レ  
 モ青年ノ力ト血トヲ以テ鑄成レタルモ  
 ノナリ今ヤ吾韓國ハ決シテ昔日ノ伊太  
 利及佛蘭西ノ比類ニアラス敵ノ吾人民  
 ニ對スル壓迫ノ如何ニ殘酷ニシテ吾種

0820

族ヲ滅亡セシメントスル手段ノ如何ニ  
憑辣ナルカハ吾人ノ想像スルニ足ルハ  
ク吾獨立運動ハ已ニ半年ノ先陰ヲ費シ  
タルニ未タ武裝的ノ行動ヲ缺ケリコハ  
吾力獨立軍ノ本領ニアラサルナリ記者  
ハ之ニ對シ朝夕ノ憂ニ堪ヘサルナリ吾  
青年團ノ事業中ニ先復義勇隊組織ノ件  
アリ之カ実行ヲナスハ刻下ニ於ケル最  
大急務ナリ記者ハ特ニ宋王黨（ヨリトスクヲ指ス）  
ノ青年團聯合會ニ對シ熱誠ヲ以テ希望

803

0821

且期待スルハ唯先復義勇隊組織ヲ急ク  
ノ一事ナリ該會ハ内外各地青年團各代  
表者ノ聯合レタルモノナレハ錚々タル  
青年四方ヨリ集リ盛大ニレテ且ツ旺ナ  
リト謂フヘシサレハ尋常ナル團體ニア  
ラスレテ諸子ノ豊富ナル抱負ト敏活ナ  
ル手段ヲ應用スヘキ機會ト場所ヲ得タ  
リト云フヘク前途ノ發展ト將來ノ結果  
ハ推レテ知ルヘキナリ然レトモ吾人ノ  
社會ハ常ニ困難ヲ歎クコトアリ互ニ教

愛レ互ニ謙遜シテ吾人ノ大目的ヲ達セ  
ラレシコトヲ新見終ニ臨ニテ大韓独立

萬歳ヲ三唱ス

吾内地ニ在ル倭奴等ハ獨立運動ヲ防禦  
セシ力為虎到刺病ヲ豫防スルト稱レ無  
罪ナル同胞ト無病ノ人民ヲ壓迫スルコ  
ト甚々多シト云フ

○上海通信

志士孫晋衡(號瑚峯)先生八年四十九ニシ  
テ原籍慶州ナリ夙ニ國事ニ奔走シ約四

805

0823

年前倭奴ノ身ニ捕ハレ桎梏ノ苦ヲ受テ  
 鬱陵島ニ流配セラレタルコトアリ先月  
 以来上海ニ赴キ吾独立運動ニ力ヲ尽シ  
 居リシ力不幸ニシテ虎列刺病ニ罹リ  
 昨日(八月十六日)死去シタリト云フ國  
 多事ノ際又一志士ヲ喪フハ吾人ノ痛悼  
 ニ堪ヘサル所ナリ

○最近ノ高麗慘狀(中國江西牯嶺宣教師大會)  
 本月十二日米國市傲吉毎日新報代理社  
 ニ登載セラレタル高麗慘狀ト題セル記

806

0824

事ニ曰ク去ル日上海附近ニ居留スル  
 重要ナル朝鮮人士等ハ該處ノ教會堂ニ  
 集會シピコト博士ノ司會ノ下ニ朝鮮將來  
 ノ事件ヲ討論シタル後現今河南ニ於テ  
 宣敎ニ從事スル米國人マツシロール博  
 士力遠東ノ独逸式即チ軍國式ヲ駁論シ  
 テキリスト的觀念ヲ以テ變更セサルハ力  
 ラサルヲ説明シ又同志ト米國ホスト  
 ニ居住スル米國ノ有名ナル政治家ハト  
 教士力朝鮮事件ニ對シ交渉シタル事實

807

0825



ヲ報答シタルカ其事實ハ日本ノ行爲ハ  
人道・違反スルヲ証言シ又キリスト教  
主義ヲ打破セシトスルヲ唱破セリ又ヒ  
ト博士ハ数年前朝鮮ニ在留スルトキ  
日本人カ朝鮮人ニ對シテ無理ナル迫害  
ヲ加ヘタルヲ目撃シタルハ及フ限リ何  
處迄モ朝鮮ノ爲ニ力ヲ尽シ正義人道ヲ  
扶植セントスル事ヲ發表セリ又世界ノ  
有名ナルハーバート大學ニ於テ多年勤務  
シタル法學博士カニホロンハ日本ノ朝鮮ニ

808

0826

對スル陸軍政策ヲ痛罵レ将来日本ノ帝  
國主義ハ共和政体ニ變スハキ証拠ヲ列  
挙レタルカ以テ上諸氏ハ朝鮮獨立ニ對レ  
總對的同情ヲ表シ居ルモノナリ

809

0827

中華民國官商報學界諸君ニ告ク

夫レ吾韓ノ始祖檀君ハ唐堯ト並立レ箕  
子能イテ東来レ八條ヲ設ケ民ヲ教ヘタ  
リ吾韓ハ禮義ヨリ以テ未禮義ヲ尊ヒ倫理  
ヲ重ンレタレハ世界ニ於テ君子國ト稱  
セルコト已ニ四千三百有余年ナリ而シ  
テ貴國ト大陸ヲ相接レ唇齒相依ツテ存  
亡ノ際ハ常ニ疾痛ノ相関スルモノアリ  
故ニ韓國危クシテ中國ヲ安ンレ中國危  
クシテ韓國安スルコト常テナカリキ今

ヲ距ル五百余年前日本ハ明國ヲ侵畧セ  
 シトシテ吾カ韓ヲ脅カスニ道ヲ假スヲ  
 以テセリ韓建之ヲ拒ムヤ日本ハ直ニ  
 韓ニ東寇シシルカ當時吾韓ノ名將李  
 臣弼甲斐船ヲ創造シ明將李如松ト共ニ  
 水陸ニ於テ激戦シ日本兵ヲ悉ク撃退シ  
 タリ乙巳(明治三十八年)伊藤博文特使  
 便トシテ未韓ニ武力ヲ以テ保護條約ヲ  
 ルモノヲ締結スルヤ貴國人悉皆殺  
 ノ亡フルヲ痛ミ遂ニ海ヲ隔テ死スル

ニ至レリ

己酉(明治四十二年)ノ冬伊藤博文外面ハ獲  
遊ト福シ裏面ニ於テ野心ヲ抱キ滿州ノ  
行ヲ爲シ特ニ露國ノ大臣ト會見シ滿州  
ヲ分割シ中國ヲ處分セルトスル計畫ア  
リ茲ニ於テ吾韓人無重根哈爾濱ニ於テ  
伊藤ヲ狙撃セリ之レ血族ノ氣類相感ス  
ルニモノニアラスヤ嗚呼日本ハ元來島國  
ニシテ其ノ人民懦弱輕佻ニシテ虛榮心  
ニ富ミ急進ノ念ニ切ナル力故ニ利益前

812

17

0830

ユアレハ禍害ノ其後ニ来ルハキヲ慮ラ  
スレテ隣邦ニ對シ侵畧主義ヲ行ヒ以テ  
發展ヲ企ツルコトアリ我韓ニ對スル政  
策ハ專ラ脅迫的行爲ト詐欺的の手段ヲ以  
テレ曰ク韓國ノ独立ヲ保護ス曰ク皇室  
ノ尊嚴ヲ維持ス曰ク韓國ノ富強ヲ圖ル  
曰ク人民ノ幸福ヲ増進スル等ノ條約一  
切ニ是ヲラス然レトモ盟血未タ乾カス  
レテ直ニ食言シ吾財政外交司法警察等  
ノ權利ヲ奪ヒ軍隊ヲ解散シ皇室ヲ虐壓

813

0831

レ德ニ蟬吞スルニ至レリ之レ實ニ正義  
 人道ノ賊ニアラスヤ嗚呼吾韓國ハ併吞  
 サレシル以來日帝ノ統治方針最モ残酷  
 ナ極メ非人道的政策ヲ以テ韓族ニ施シ  
 集會結社言論出版ノ自由ヲ許ササルノ  
 ニナラス信教企業ノ自由モ亦拘束シ所  
 謂官廳ハ吾人ノ權ヲ蹂躪レ公私ニ於テ  
 差別的待遇ヲ爲シ韓人ヲ視ルコト單  
 ノ如クシ學校ニ於テハ劣等教育ヲ施シ  
 紙ヲ養成スルニ過キス法令ハ苛酷ナ

此條文ヲ讀ケ良民ヲ虐殺スル殺刃ニ異  
 ナルコトナレ韓人ノ産業ハ或ハ公ヲ藉  
 リテ横奪レ或ハ私ニ營ミテ騙取ス吾皮  
 肉ヲ剝キ吾膏血ヲ吸ヒ尽レテ巨細ヲ遺  
 サスレテ彼等ノ慾望ヲ充タレタルヤ吾  
 國若有志ノ士牛馬ノ苦痛ニ堪ハスレテ  
 羈絆ヲ脱セントシ四方ニ奔走スル中中  
 國ニ漂泊シテ漸ク其ノ生命ヲ保有レ居  
 ルモノ最も多シ之ハ專ラ貴國ノ保護ニ  
 依ルモノナリ蓋シ吾國異族ノ手ニ亡ス



サレタル後光復ノ拳屢々起ソテ屢々倒  
レタリ幸ニシテ天運循環レテ民族自決  
主義世界ニ宣傳スルヤ本年三月一日以  
来吾民族ハ独立ヲ天下ニ宣言シ自由ヲ  
世界ニ絶叫セリ之ハ人類平和ノ大義ナ  
ルカ故ニ外國何レモ同情ヲ表セサルニ  
ノナレ況ンヤ吾同種同文唇齒相依ルノ  
貴國ニ於テオヤ於茲吾人ハ一共和國臨  
時政府ヲ上海ニ創建シ未タ外國ノ承認  
ヲ經サルト雖モ已ニ独立國家ヲ成レタ

816

0834

7

ルカ故ニ吾カ外交總長金主植君カ吾民  
族ヲ代表シ己ニ獨立請願書ヲ提出シ其  
ノ發言權ヲ得タレハ將ニ國際聯盟會ニ  
出席シ吾主張ヲ貫徹スレテ我民族ノ敵  
人ニ鉄殺ヲ被リタルモノ既ニ二万以  
上ニ達シ俘虜トシテ牢獄ニ投セラレタル  
モノ及重軽傷ヲ受ケタルモノ亦二万以  
上ニ達ス哀レナルカナ痛ムハキ武瓦ソ  
我民族ハ之ニヨリテ尤モ深ク切齒レ敵  
ト共ニ天ヲ載カサルコトヲ誓ヒ獨立戦

多ニ死スルトニ決シテ島夷ノ奴隷トナ  
ルサルハシ若レ國際聯盟會ニ於テ戒韓  
國問題ニ對シ満足ナル解決ヲ與ヘサル  
ハ直ニ獨立戰爭ヲ宣布シ最後ノ一人ニ  
至ル迄血戰シテ後ニ止ムノミ之ニ依  
テ慘禍ヲ生スルハ其責任日本ニアリ嗚  
呼彼ノ日本ハ野心勃興シ無厭ノ慾ヲ以  
テ南滿洲方面ニ於テ鐵道ヲ敷設シ守備  
隊ヲ置キ恣ニ横暴ヲ行ヒ憚ル処ナレ其  
勢力韓國ニ由リテ滿洲ニ及ビ將ニ滿洲

818

0836

由リテ貴國ノ内地ニ及フベシ目今貴  
 國ノ日本ニ對スル交渉未ク落着セサル  
 青島一帯ノ人民日本人ノ蹂躪ヲ度ケ  
 住宅ハ出入ニ任シ生命ハ殺傷ニ任シ毒  
 藥ヲ自由ニ販賣シ穀物ヲ自由ニ收穫シ  
 且ツ武器ヲ土匪ニ貸シテ生靈ヲ荼毒シ  
 暗ニ武官ヲ蒙古ニ派遣シ及私ヲ煽動シ  
 中國ノ内乱アルニ乘シテ漁夫ノ利ヲ納  
 ノントス日本ハ我韓國ニ對スル手段ヲ  
 以テ貴國ニ對ス蓋シ貴國ハ日清戰事後

士氣沮喪シ官民上下日本人ヲ畏ルルコト虎ノ如シ言アレハ必ス聞キ求ムレハ必ス應ス之レ何故ゾ切ニ貴國ノ為ニ憂フ今幸ニ貴國人士モ火ニ猛省ヲ加ヘ各々國家ノ責任ヲ重シレ國民ノ義務ヲ尽シ將ニ軍事密約ヲ廢棄レ山東ノ主權ヲ恢復セントシテ死ヲ以テ争フヤ貴國ノ士氣大ニ世界ニ振入り實ニ欽歎ニ堪ヘサルトコトナリ此時ニ於テ貴國ハ我國ト同盟協力シ眇タル日本ヲ討滅ス

820

0838

11

ルハ掌ヲ反ス力如レト云フハレ今敵ニ  
 千万民族ノ内豈ニ更ニ李舜臣ノ如キモ  
 ノ無カラシヤ我國ハ武備ナレト虽モ亦  
 當ニ死ヲ以テ血戦レ其先鋒タルコトヲ  
 敢テ辞セス如斯セハ東洋ノ平和ヲ乞  
 ハレ世界ノ戦禍ヲ弭マシムハレ  
 豈快ナラサランヤ豈偉ナラサランヤ  
 唇亡齒寒ノ憂アリ又同仇敵愾ノ誼  
 レハ輿論ヲ代表シテ敢テ諸君ニ告ク  
 ニ諒察セヨ

821

0839

安東瑛	鮮子赫	宋賢期	趙善根
金義善	池一笑	金承萬	洪成益
咸錫殷	金克瑞	許 鐸	尹昌萬
金燦星	朴春根	趙在健	金河源
鄭尚斌	吳學洙	金斗滿	沈基弘
張子一	金鳳天	車鎮夏	薛命和
黃大淵	金基濬	朴永祐	池仲振

大韓民國元年八月 日

822

0840

12